

平成21年 新春記者会見 要旨

1 昨年を振り返って

- ・「経済」
 - ・「混迷」という言葉に集約される世界的な金融危機
 - ・株価の下落，急速な円高の進行，企業業績の下方修正
⇒「厳しく不透明」と評される近年の中でも，稀に見る激動の年
- ・「自然環境・社会情勢」
 - ・中国四川の大地震，岩手・宮城内陸地震，ゲリラ豪雨などの「天災」
 - ・「食」における薬物混入・偽装などの「人災」
 - ・生命を軽視した痛ましい事件，救急医療における悲しい事件
⇒自然との共存や，人と人が互いを尊重し支え合う，
互助・共助の社会づくりが大切と感じた年
- ・「ひと」
 - ・北京オリンピックでの日本人選手の数々の活躍
 - ・日本人4人のノーベル賞同時受賞の快挙
⇒心からの感動と自信を与えられた，
高い目標に向かって努力し続けることの大切さを教えられた年
- ・「本市においては」
 - ・「栃木SC」のJ2昇格
「リンク栃木ブレックス」のトップリーグでの活躍
 - ・北関東自動車道，栃木・茨城間が開通
⇒本市の魅力・存在感が充実し，
「選ばれる都市」として花開く時に向け，芽吹いた年

2 年頭にあたっての決意

- ・厳しい経済環境ながら，本市の持つ底力や魅力，潜在能力を最大の強みとして，更なる「改革」と，新たな価値を生み出していく「創造」に併せて取り組み，確実に「100年先も活力ある発展が続く持続可能な都市」を実現していく。
⇒未来に輝く宇都宮のまちづくりに向けて「力強く歩んでいく年」と位置づけ，
いかなる困難にも，勇気と情熱を持って取り組んでいく

3 平成21年の主な取り組み

- ・まず，喫緊の課題である経済対策を最優先とし，必要な対策を，全庁を挙げ実施していくとともに，本年は，総合計画を指針とし，3つのまちづくりに取り組んでいく。

(1) 『全国に誇れる質の高い生活都市づくり』

①子育て支援の充実

- ・妊娠・出産に対する支援（不妊治療・妊産婦医療支援）
- ・子育て情報の総合的な提供

②高齢者、障がい者の活動支援・生活支援

- ・元気なシニアの活動支援
(みやシニア活動センターにおける相談業務の充実 など)
- ・障がい者の自立・社会参加促進 (授産品の商品開発・販売促進支援)
- ・障がいを持つ子どもの放課後預かりの充実 (日中一時支援 (放課後支援型))

③保健・医療サービスの質を高める

- ・救急医療体制の充実
(救急医療機関の連携促進, 救急医療機関への支援の拡充)

④安全・安心な生活環境の創出

- ・学校施設耐震化
- ・振り込め詐欺防止対策 (出前講座などによる啓発活動)

⑤総合的な交通ネットワークの充実

- ・地域内交通
(「宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会」での検討, 市内各地域での説明会継続, 導入促進のための仕組みづくり)
- ・公共交通
(新交通システム検討委員会等の検討結果を踏まえながら, L R Tに関する説明会・オープンハウス開設)
- ・道路ネットワーク
(スマート I C : 上河内アクセス道路完成, 宇都宮・鹿沼 I C間での検討)

⑥深刻化する地球環境問題への対応

- ・「エコ・サイクル・シティ」自転車のまちづくり
- ・地球温暖化対策の取組 (太陽光発電の導入促進)
- ・もったいない・うつのみや運動 (市民活動組織の設立)

(2)『出会い・ふれあいを育む交流都市づくり』

①都市機能, 交流機能の強化

- ・宇都宮駅東口地区の整備
(東西自由通路の整備, 拠点施設整備に向けた取組)
- ・市街地再開発事業の推進
(馬場通り西地区, 駅西第4 B, 千手宮島地区 など)
- ・「都市計画マスタープラン」の策定
- ・「中心市街地活性化基本計画」の策定

②機能的で魅力ある拠点の創造

- ・雀宮駅周辺地域の整備
(第3図書館, 駅関連施設の整備 など)
- ・中里原・岡本駅西土地地区画整理事業

③都市の個性の創出と発信

- ・「都市ブランド」の推進
- ・「おもてなし運動」の推進
- ・観光セールスの強化
- ・プロスポーツチーム (栃木 S C, リンク栃木ブレックス) への支援
(広報によるファン層拡大支援, 活動環境向上)

(3) 『たくましい地域力を備えた実力都市づくり』

①次代を築き担う人間力の育成

- ・小中一貫教育制度の継続検討
- ・小学校普通教室等の冷房化

②強い産業構造の形成

ア. 地域産業の発展支援

- ・新規立地の誘導，中小企業の振興
- ・新規起業者支援の充実
(チャレンジャーのまちうつのみや推進事業)

イ. 「農業王国・うつのみや」の確立

- ・アグリネットワークの推進
- ・農畜産物ブランド化の推進
- ・地産地消の推進
- ・地域農業担い手育成の総合支援事業（新規就農者，女性農業者の支援）
- ・菜の花プロジェクトの推進

③地域が主体となったまちづくり

- ・宇都宮版CSR制度の構築
- ・市政情報コールセンター設置に向けた取組

4 新年度予算編成

- ・景気の急激な落ち込みにより，厳しい財政状況が見込まれるが，喫緊の課題である経済対策として中小企業支援・公共事業の確保に取り組む
- ・都市基盤の整備や，子育て支援，安全・安心なまちづくりを進める
⇒本市が魅力と活力にあふれるまちとして，将来にわたり，持続的に発展していくための予算となるよう，鋭意取り組んでいく。

5 新年度執行体制

- ・行財政改革を推進していくため組織の再編・強化
- ・「うつのみやブランド」の推進のための体制整備
- ・「農業王国うつのみや」の実現のための体制整備

6 むすび

- ・わが国の発展に大きく貢献する存在感のある都市となるよう，これまで以上に知恵と汗を振り絞って市政運営に邁進していく所存。
- ・現在の社会情勢は明治時代のように大きな転換点。司馬遼太郎の「坂の上の雲」には明治の新たな時代を切り開いた先人達の志の高さや行動力が描かれている。
- ・私も，高い志や気概を持って市政に取り組み，明るく確かな未来を，市民の皆様と「共に信じ，共に目指し，共に行動していく」1年としたい。
- ・皆様方には，より一層のご支援，ご協力をお願い申し上げます。